

## **第3弾 航空機廃棄部品を再活用した商品を、横浜高島屋で限定販売**

～アクリルメーカーとの共同企画商品の販売やお子さま向けのおしごと体験イベントも実施～

株式会社 JAL エンジニアリング(所在地:東京都大田区、社長:田村亮、以下「JALEC」)は、これまで「空を飛んだ そのあと」をテーマに航空機廃棄部品を活用した商品を横浜高島屋で販売し、[第1弾](#)、[第2弾](#)と大変ご好評をいただきました。このたび、第3弾として新たな商品をラインナップに加え、2024年7月24日(水)より期間限定で販売します。

また、今回は、本物の航空機部品ならではの質感・整備士のアイデアと技が光る商品に加えて、TOKYO ACRYL(有限会社三幸)に製作協力いただいた商品の販売やお子さま向けのおしごと体験イベントも行います。

### 【販売概要】

- 場所 : 横浜高島屋 6階紳士雑貨イベントスペース  
 期間 : 2024年7月24日(水)～8月6日(火) ※最終日午後6時閉場  
 内容 : 航空機廃材を活用した商品の販売 ※売り切れ次第終了

【販売商品紹介】 ※ここでは一部商品のみをご紹介します。店頭にはその他の商品もご用意しております。



① ボーイング 767 IDG ピストンキーホルダー



② ライフベストポーチ



③ キャビンウィンドウラウンドキーホルダー

#### ① ボーイング 767 IDG ピストンキーホルダー

ボーイング 767 型機のエンジンに搭載されている IDG(Integrated Drive Generator)と呼ばれる発電機の一部部品から製作したキーホルダーです。ワンポイントとして取り外し可能な鶴丸メダルも付いています。

#### ② ライフベストポーチ

定期交換のため、未使用のまま航空機から取り下ろされたライフベストをポーチに生まれ変わらせました。特徴的なイラストはそのままに、ランヤードと呼ばれるライフベストを膨らませる際に使用する引き手部分を、取り外し可能なチャームに仕上げました。

#### ③ キャビンウィンドウラウンドキーホルダー

キャビンウィンドウ(※1)から製作したラウンド型のキーホルダーです。キャビンウィンドウを使った別の商品を製作する際に出てくる端材も使用しています。「捨てる部分を極力少なくしたい！」という思いで整備士が製作した商品です。

(※1) キャビンウィンドウは、機外側と機内側の 2 枚 1 セットで機体に取り付けられています。本商品は、機内側のキャビンウィンドウを使用しています。



### 【TOKYO ACRYL とのコラボ新商品】

これまでに 7,100 種類以上の独自の亚克力板を製作し、亚克力の再資源化にも積極的に取り組む TOKYO ACRYL(有限会社三幸)にご協力をいただき、新しい商品を製作しました。航空機に使用していたボルトやワッシャー、ベアリングなどの小さな部品を使用し、亚克力の端材と一緒に封入したシャカシャカキーホルダーと、航空機に搭載されている電装系部品をセレクトしたパーツディスプレイです。シャカシャカキーホルダーは、エンジンデザインと高度計デザインの 2 種類を製作しました。小さいながらも部品の重量感を感じていただける商品となっています。パーツディスプレイは、機内エンターテインメントを操作する客室の各座席横に設置されている PCU(Passenger Control Unit)と呼ばれる機器のコネクター部分に使用されていた 7 色のワイヤーなどが入っています。



シャカシャカキーホルダー  
(エンジンデザイン)  
【100 個限定】



シャカシャカキーホルダー  
(高度計デザイン)  
【100 個限定】



パーツディスプレイ  
【20 個限定】

#### ※注意事項

- ・全商品、数量限定。先着順。売り切れ次第終了。
- ・商品に使用している部品は航空機廃材や亚克力端材のため、ひとつひとつ種類、形状、色合い、大きさなどが異なります。

### 【おしごと体験イベント】

場所： 横浜高島屋 6 階 紳士雑貨イベントスペース

期間： 2024 年 7 月 27 日(土) 午前 11 時～/午後 1 時～/2 時～/3 時～  
各回約 30 分、1 回あたり 3 名さま

対象： 小学 4～6 年生

内容： 「航空整備士のおしごとを体験してみよう！」

JAL エンジニアリングの整備士と一緒に、どのように航空機を点検しているのかその一部を体験いただけます。

URL: <https://www.takashimaya.co.jp/yokohama/>

※定員に達し次第ご予約を締め切ります。



整備士のおしごと(イメージ)

JAL グループでは、2021 年 10 月より、廃棄される航空機部品を活用した商品の販売を開始し、廃棄物削減とともに空の旅を身近に感じていただける商品づくりを進めてきました。廃材を活用したグッズ製作に加え、アーティスト作品をエンジン部品に転写したアート、[ホテルでのコンセプトルームの開発](#)など、活用方法の多様化も進めています。

以上